

令和5年度 シラバス

学年	教科	教材
2年（女子）	保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 最新 中学校保健体育（大修館書店） ・副教材 ステップアップ中学体育（大修館書店） 最新中学校保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の目標

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- ・運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- ・運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

2. 学習の方法

- ・規律ある行動を取り、準備・片付けも含めて意欲的に授業に取り組む。
- ・グループ活動の際は、積極的に仲間と協力し、課題を解決・克服する力を高める。
- ・教科書や保健ノートを使用して運動や健康に関する知識を身に付ける。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	授業の様子、実技（技能）テスト、定期テスト など
思考・判断・表現	授業の様子、ノート・提出物の内容、定期テスト など
主体的に学習に取り組む態度	授業態度・忘れ物の有無、実技テストの一部 など

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	オリエンテーション 体づくり運動	集団行動 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通じてからだを動かす楽しさや心地よさを味わう。また、仲間と交流する楽しさを味わう。 ・体力テストの種目で自分の記録を測定し、昨年度からの発達度を理解する。
5	スポーツテスト 器械運動 保健	体力テスト マット運動 生活習慣病【保健】 生活習慣病の予防【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの種目で自分の記録を測定し、昨年度からの発達度を理解する。・マット運動では、基本となる技を習得し、演技する楽しさを味わうとともに、傷害を予防する身のこなしを身につける。 ・生活習慣に起因する病気の総称を生活習慣病と呼び、心臓病や脳卒中、歯周病などがあることについて理解する。
6	陸上競技 体育理論	ハードル走 がんとその予防【保健】 生活習慣病・がんの早期発見とその回復【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走では、ハードリングのスキルを習得し、記録向上の楽しさや達成感を味わう。 ・がんは健康的な生活習慣を続けることである程度防げる病気であることを理解する。
7	水泳	クロール・平泳ぎ 喫煙と健康【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・クロールや平泳ぎで速く、長く泳ぐ技術を身につけ、記録に挑戦する楽しさを味わう。 ・喫煙による健康被害や若者への害について理解する。 ・たばこの煙に含まれる有害物質とその急性影響について理解する。
9	ダンス	ダンス 走り高跳び・飲酒と健康【保健】 薬物乱用と健康【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集団としてのダンスを通して、団体で演技する楽しさや達成感を味わう。 ・アルコールには依存性があることや、とくに若者には危険があることについて理解する。 ・薬物乱用は暴力・非行・犯罪など家庭・学校・地域社会に深刻な影響を及ぼすこともあることについて理解する。

10	武道 陸上競技 保健	剣道 走り高跳び 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処【保健】 けがの原因と防止【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀作法を身につけ、相手を尊重する気持ちを身につける。 ・ 跳躍のスキルを身につけ、自分の記録に挑戦したり、基礎的体力の向上に努めたりする。 ・ 心理的要因と社会的要因に適切に対処するためのポイントについて理解する。
11	球技 保健	バスケットボール 交通事故の実態と原因【保健】 交通事故の防止【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な運動技能を身に付ける。チームで戦術を工夫して、協力してゲームができるようにする。 ・ 事故の原因には人的要因と環境要因があることについて理解する。 ・ 交通規則の遵守と危険予測・危険回避が事故防止につながることを理解する。
12			
1	球技 陸上競技 保健	ソフトボール 長距離走 自然災害によるけがの防止【保健】 応急手当の意義と基本【保健】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦術を工夫して、チームで協力し戦うことができる。基本的な技術を身につけることができる。 ・ 自分の記録に挑戦したり、基礎体力の向上に努めようとしている。 ・ 応急手当の意義と基本を学び、心肺蘇生法、止血法などを実習を通して正しく理解する。
2			
3			